令和元年度第3回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時:令和元年12月24日(火)

午後1時30分から

場所:十四山スポーツセンター

(第2アリーナ)

○議 事

1.開会

事務局	・ただいまから、令和元年度 第3回弥富市地域公共交通活性化協議会を開
(岡田)	催する。
	・私は危機管理課の岡田である。課長及び課員が休んでいる。申し訳ない。
	よろしくお願いする。

2. あいさつ

事務局	・最初に、安藤弥富市長よりご挨拶をお願いする。
(岡田)	
安藤市長	 ・令和元年度 第3回弥富市地域公共交通活性化協議会に開催に当たり一言 ご挨拶を申し上げる。 ・年末のお忙しい中、ご出席賜りありがとうございます。 ・きんちゃんバスは毎年取り組み、本協議会においてご協議いただき、よりよい運行を目指している。今年度は初の試みである公共交通講演会を座長の山﨑先生にご講演いただき、現在は各ルートごとにワークショップを行い、市民の皆様と意見交換させていただいている。次回の協議会においては、その検証を一部発表できると思う。 ・本日の主な議題は、各種調査結果、弥富市地域公共交通確保維持改善事業での事業評価となっている。慎重なご審議を賜るようお願い申し上げる。 ・簡単ではあるが、開会に当たっての挨拶とさせていただく。よろしくお願い申し上げる。

3.議題

(1) 各種調査結果について

事務局	・議題に入る前に、この12月より新たに委員となった民生・児童委員協議
(岡田)	会会長の遠藤東子さんを紹介する。一言ご挨拶をお願いする。
遠藤委員 (民生・児童委員 協議会会長)	・12月から民生・児童委員会会長に就任した遠藤東子である。よろしくお願いする。
事務局	本日の会議資料の確認をさせていただく。

(岡田) 席上に本日の会議資料として、 ・レジュメ ·資料1:利用実態調査結果 ・資料2:バス停乗降者数調査結果 ・資料3:モニタリング調査結果 ・資料4: 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業・事業(自己) 評価案 · 資料5: 令和元年度補助系統別系統事業評価票 (蟹江線) • 配席表 ・愛知運輸支局よりバスの運行に関するものの資料として2枚、バス協会か ら「バスの運転士になろう」というチラシが1枚。 ・不足があればお申し出いただきたい。 ・今後の議事については議長の山﨑先生にお願いする。 山﨑議長 ・公益財団法人豊田都市交通研究所の山崎である。 ・市長のご挨拶にもあったとおり、市民とワークショップを行っている。3 地区で第1回目が終了した。年明けに第2回を行う。いい意見が聞けるい い機会になっている。委員にも何人か参加していただいている。その成 果を弥富市地域公共交通の改善に生かしていきたい。 議題(1)は報告事項、(2)は審議事項となっている。 ・議題(1)、各種調査結果について、資料1、2、3を使って事務局から説 明をお願いする。 ○資料1説明 事務局 ・資料1、利用実態調査結果について説明する。 ・令和元年9月までの利用状況を説明する。 ・乗車人員の推移について、全ルート1日平均乗車人員は昨年より増加して いる。 P.2、ルート別に全ルートの状況、P.3、北部ルートの状況、P.4、南部ル ートの状況、P.5、東部ルートの状況を整理している。 ・P.6、ルート別乗車人員のまとめだが、平成30年度から令和元年度までの 1日平均乗車人員、1便当たり平均乗車人員ともに全体としては増加して いるが、東部ルートの土曜日が減少している。 ・P.7はバス停別乗車人員の内訳となっている。 ・P.7からP.8は年度ごとのバス停の乗車人員を記載している。各年同様の 傾向となっている。イオンタウン、海南病院、近鉄弥富駅南口、総合福 祉センター、弥富市役所が多くなっている。乗車人員が少ないバス停も ほぼ同年の傾向となっている。 ・P.9は全バス停の令和元年度1日平均乗車人員、P.10はその内訳の北部ル ート、P.11は南部ルート、P.12は東部ルートを整理している。 ・P.13からP.15は便別乗車人員の内訳となっている。各ルートともに便別 乗車人員は経年的に平日、土曜日ともに同様の傾向が続いている。北部

ルートでは9時と11時、南部ルートでは9時台と11時台と12時台、東部ルートでは午前中の利用が多く、夕方の便になるほど利用者は減少してい

る。

・P.16は国の補助対象年度で整理している。北部ルート、東部ルートで増加傾向となっているが、南部ルートで伸び悩んでいる。

○資料2説明

- ・資料2、バス停乗降者数調査結果を説明する。
- ・調査は9月30日(月)~10月5日(土)の1週間、すべてのバス車内にて シール方式の調査票を配布する形で実施している。
- ・P.2に回収結果を整理している。乗車実績に対して、全体で97.5%の回収率で、ほぼ全数を把握できている。
- ・バス停乗降者数調査では利用者属性も調査している。P.3以降にその結果を整理している。利用者の約64%は75歳以上であり、65歳以上の高齢者は約76%となっている。
- ・ルート別に見ると、75以上の割合は北部ルート、東部ルートが高くなっている。高校生以下の利用はほとんどは南部ルートとなっている。
- P.4、利用目的については買い物が最も多く、公共施設利用も多くなっている。ルート別に見るとその目的がよくわかる。
- ・P.5、バス相互の乗り継ぎ状況を整理している。各ルートともに乗り継ぎ の高いのは鉄道となっているが、バスからの乗り継ぎも少数見られる。
- ・P.6、バス停間移動について、移動の多いものを図示している。最も移動件数が多いのは近鉄弥富駅南口から川崎重工への移動となっている。また北部ルートや南部ルートでは近鉄弥富駅南口やイオンタウン、弥富市役所、海南病院、総合福祉センターを中心とした移動が多く、東部ルートでは鮫ケ地、十四山総合福祉センター間や、佐古木駅を中心とした移動が多くなっている。
- ・P.7、バス停別乗降者数について整理している。近鉄弥富駅南口の乗降者 数が最も多くなっており、以下、イオンタウン、弥富市役所、総合福祉 センター、海南病院の順で多くなっている。また佐古木駅や十四山総合 福祉センターの乗降者数も多くなっている。

○資料3説明

- ・資料3、モニタリング調査結果を説明する。
- ・モニタリング調査結果はきんちゃんバス利用者を対象にアンケート調査 を実施しており、100通の回答があった。
- ・調査結果について説明する。属性についてだが、バス停乗降者数調査結果と同様、高齢者が多くなっており、65歳以上では75%を占めている。
- ・P.2、きんちゃんバスの利用状況としては、南部ルートが多くなっており、 約33%の方が複数のルートを利用されている。また利用頻度は79%が週 1回以上利用されている。
- ・P.3、昨年と比べた場合の利用頻度は、変わらない方が48%いるが、増えた方も38%いる。利用目的は、買い物や通院、公共施設への用事・利用

	<u></u>
	が多くなっている。
	・P.4、満足度は無回答を除くと約49%が満足と回答している。網形成計画
	の目標では利用者満足度の向上として平成32年に無回答を除いた値で
	50%以上の満足を確保するとしているが、これを若干下回る値となって
	いる。不満の理由としては、本数が少ないといった意見が多くなってい
	る。
	・P.5、回数券、定期券、シルバーパスの利用状況については、昨年度と比
	較するとシルバーパスを利用している人が減少し、無回答を除くその他
	項目が増加している。
	・サイクル&バスライド駐輪場の利用状況については、「利用できることは
	知っていたが利用したことがない」が35%と最も多くなっている。また
	昨年度と比較すると「利用できることを知らなかった」が増加している。
	・P.6、東部ルートの飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎについては、「乗
	り継ぎをできることを知っているが、乗り継ぎをしたことがない」が51%
	と最も多く、「乗り継ぎをしたことがある」は5%となっている。
	・P.7、バス停までの距離は、徒歩5分以内が最も多くなっており、5分圏内
	で見ると58%の方は比較的バス停に近い位置に居住している。
	・今後のきんちゃんバスの運行維持については、「現状の費用負担で運行を
	維持すべき」が最も多く、「市の費用負担を増やしてでも運行本数などを
	充実すべき」という意見も多くなっている。
	・以上で議題(1)各種調査結果についての説明を終わる。
山﨑議長	・ただいま説明のあった1つ目の利用実態調査、2つ目のバス停乗降者数調
	査、OD調査という言い方をするが、どのバス停から乗って、どのバス停
	で降りたのかを調査している。3つ目が利用者のアンケート調査である。
	・ご意見、ご質問があればお願いする。
上井委員	・午前中、蟹江で会議があり、近鉄蟹江駅から飛島公共交通バスで亀ケ地
(愛知運輸支局)	まで乗ってきたが、途中でダンプカーとすれ違いができずに立ち往生し
	て、4、5分ロスをした。
	・資料1から3だが、細かい調査をされていることはよいことだと思うが、
	これを見ていて、その後どうしていくか、このあたりをもう少し説明い
	ただきたい。
	・資料1の利用実態調査結果については年間のバスの利用者の利用状況の推
	移を各ルートごとに把握することができ、これによりどこのルートが苦
(1141 141 /	戦しているかということがわかると思っている。
	・資料2はバス停の乗降者数調査結果ということで、バス停を利用された方
	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	がどのような目的で行かれるのかということを把握し、今後、バスの路線、ダイヤの光平に向けた見声しの参考姿料とする。
L++未足	線、ダイヤの改正に向けた見直しの参考資料とする。
上井委員	・ダイヤ改正は具体的にいつやるかイメージがあるのか。
(愛知運輸支局)	
事務局	・今後、各地区のワークショップの結果を踏まえてと考えている。現時点
(岡田)	では具体的なイメージはない。

	Т
上井委員 (愛知運輸支局)	・資料1から3は、網計画改正に向けた調査の1つだと思う。これを受けて 網計画に生かしていくのではないか。網計画の中で問題点があるところ
(50) (21)	やさらなる改善ができるところを今回の調査結果をもとに網計画の中へ
	の落とし込み、あるいは今後の路線改正、ダイヤ改正になるのではない
	かと思うが、そういう理解でよいか。
事務局	・そのようにお願いする。
(岡田)	
上井委員	・資料2のOD調査で、利用者に配ったものはシールを剥がして右のほうに
(愛知運輸支局)	貼るのか。
事務局	・そうである。
(岡田)	
上井委員	・このやり方は、不都合や、利用者にとっては配布しやすかったとか、煩
(愛知運輸支局)	わしくなかったなど、見えてきたことはあるか。ビンゴカードのような
	形で穴をあけるというやり方は豊田市などでやっている。シールのやり
	方というのは数としては少ないと思う。教えていただきたい。
事務局	・この調査方法については、知る範囲では利用者からの苦情等はなかった。
(岡田)	年配の方にとってはやりやすいという好評な意見をいただいていると聞
	いている。
山﨑議長	・補足すると、こういった調査は弥富市の場合は利用実態調査、乗降調査、
	アンケートを毎年実施して、どういう状況かを把握している。その上で、
	今後の計画の改善に役立てていく。そのために調査をしている。
	・前年度から比較して、こう変わったというところが整理されている。
	・できれば考察を深くやれるとよいが、時間がなくて、この会議の場では
	出てこない。今後、網形成計画の改定なのか、新たに計画を作っていく
	のかわからないが、新たな計画の基礎資料として役立つ。
	・今回はこれに加えて、ワークショップで出てきた生の声を反映させてい
	くことになる。
	・資料1のP.6、東部ルートの土曜日を除き全体的に増加傾向となっている。
	東部ルートの土曜日は増加していないということであるが、原因は何か。
事務局	・東部ルートは平日は5本、土曜日は4本で、土曜日は平日より1本便が少
(岡田)	ない。その関係で利用者の中には時間がそぐわない方が出ているのでは
	ないか。
山﨑議長	・具体的に1本少ないということはすごく不便だという声は挙がっているの
	か。
事務局	・東部ルートはバス1台で運行しているということで、バスを増やしてほし
(岡田)	いという話は聞いている。そういうことも影響が出ているのではないか。
山﨑議長	・全体としては増加傾向である。この調査結果を踏まえて、今後改善に向
	けて考えていただきたい。
	・ほかにいかがだろうか。
渡邊委員	・資料3のP.4、満足度だが、網形成計画の目標が50%ということで、昨年
(愛知県)	度の結果を見ると無回答を除いて50%を超えていたが、今年度少し下が

	っている。不満な理由が書いてあるが、昨年から今年にかけて、何かこ
	の理由で増えた、減ったというのはあるのか。
事務局	・不満の理由についてはこのような数字で推移している。バスの運行上の
(岡田)	利用者の満足度についてはダイヤ改正等がなければ得てして徐々に下が
	ってしまうと見ている。
	・ワークショップでルートごとにご意見が出ている。今後参考にしていき
	たいと思っている。
山﨑議長	・満足度が飽和状態になったところがあるのかもしれない。満足している
	人は満足した状態になっているということかもしれない。
	・不満な理由で、本数が少ないというのはいつも毎回出ている。これはど
	の地域でもそうだと思う。
	・ほかにいかがか。
佐野委員	・いつも申し上げるが、市の費用負担を増やしていただくのは申し訳ない
(公募委員)	が、本数が午前中は1時間に1本あるとよい。そうすると利用できると思
	っている。
事務局	・今後の検討課題とさせていただきたい。
(岡田)	
山﨑議長	・ご理解していらっしゃると思うが、飛島交通の幹線として動いているバ
	スですら昼間は1時間に1本である。
佐野委員	・昼間は1時間に1本である。
(公募委員)	
山﨑議長	・通勤通学の時間帯はたくさん走っている。小さいバスでは難しいかもし
	れない。
	・路線の効率化を図り、乗る人のところを重点的に短い路線で運行すれば
	少し便を増やせるところはある。そこも含めて、ワークショップでいろ
	いろな意見が出てきている。具体的な改編の案も次回やっていく。何か
	いい案が出てくるかもしれない。
	・ほかにはよろしいだろうか。
	・最終的に調査結果をきちんととりまとめて、次の計画に生かしていただ
	きたい。
	・次の議題に進みたい。

(2) 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業・事業(自己) 評価について

山﨑議長	・資料4、資料5を使って説明をお願いする。
事務局	○資料 4 説明
(岡田)	・平成30年10月から令和元年9月までの令和元年度弥富市においては地
	域公共交通確保維持改善事業のうち、地域内フィーダー系統確保維持事
	業による補助を受けており、事業の自己評価として、指定の様式に基づ
	いて整理したものとなっている。
	・この事業(自己)評価は来年1月中までに愛知運輸支局に提出すること
	になっている。

- ・また、資料のP.1からP.4の様式は国の様式となっており、2つの案件がある。
- ・P.5 以降のカラーのページは中部様式として中部運輸局独自の様式となっており、地域公共交通網形成計画も含めた、より全体的で具体的な取り組みなどの状況を評価したものとなっている。
- ・P.1、協議会名は弥富市地域公共交通活性化協議会。評価対象事業名は、 令和元年度地域公共交通確保維持事業のうち陸上交通(地域内フィーダ 一系統確保維持費国庫補助金)。地域の交通の目指す姿として、市民生活 と地域を支える持続可能な地域公共の確保・維持としている。
- ・P.2、細項目としては、左から、①補助対象事業者、②事業概要、③前回の事業評価結果の反映状況、④事業実施の適切性、⑤目標・効果達成状況、⑥事業の今後の改善点となっている。
- ・①補助対象事業者は、三重交通株式会社となっている。
- ・②事業概要は、弥富市内を巡回する3路線(北部ルート、東部ルート、 南部ルート)を運行し、各ルートとも近鉄弥富駅やイオンタウン、総合 福祉センター等の主要な施設にアクセス。また東部ルートは飛島公共交 通バス蟹江線と一部バス停を共有と整理している。
- ・③前回の事業評価結果の反映状況は、ニーズに即した運行改善の検討と、 情報提供等周知活動の実施、無料お試し乗車券による新規利用者の掘り 起こしの3点を挙げている。
- ・④事業実施の適切性は、計画通り、弥富市内を巡回する3路線を運行するとともに、モニタリング調査(利用者アンケート)や利用実態調査などを実施し、できる限り利用実態やニーズの把握に努めていること。また、協議会を計4回開催することとともに、無料お試し乗車券の配布による新規利用の発掘、広報誌やホームページ、イベントの場を活用した情報提供に努めており、適切に実施していることを踏まえ、A評価としている。
- ・評価基準については、A評価は事業が計画に位置づけられたとおり適切 に実施された・されているということになっている。
- ・⑤目標・効果達成状況については、満足度の向上と1便当たり乗車人員の増加という2つの目標を掲げていた。
- ・満足度の向上については具体的には満足度が50%以上を数値目標としており、モニタリング調査の結果から、48.9%と前年度の53.1%よりも減少、数値目標も若干下がっており、B評価としている。
- ・1 便当たり乗車人員の増加については、具体的には前年度からの増加を数値目標にしており、北部ルートは増加しているため A 評価、南部ルートは横ばいのため B 評価、東部ルートは増加しているため A 評価とし、全体の評価は一部未達成ということで B 評価としている。
- ・⑥事業の今後の改善点については、地域公共交通網形成計画の見直し・ 再編と、持続的な利用促進活動の推進の2点を挙げている。
- ・P.3、もう1つの事業評価になるが、協議会名は、弥富市地域公共交通活

性化協議会。評価対象事業名は、令和元年度地域公共交通調査等事業の うち地域公共交通調査事業(計画策定事業)。地域交通の目指す姿は、市 民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持となってい る。

- ・P.4、左から、①事業の結果概要、④事業実施の適切性、③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針となっている。
- ・①事業の結果概要については、①運行の実証に関する調査、②住民意向 に関する調査、③現況と問題点課題の整理、④協議会の開催を挙げてい る。
- ・④事業実施の適切性では、計画通り、運行の実証に関する調査 (OD 調査、利用者アンケート) や住民意向に関する調査 (住民アンケート、住民意見交換会、シンポジウム) を実施し、できる限り利用実態や住民ニーズの把握に努めた。また、協議会も計 4 回開催しており、適切に実施しているとし、A 評価としている。
- ・③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定 に向けた方針では、令和3年度地域公共交通確保維持事業のうち、陸上 交通(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)の申請を予定。
- ・事業内容として、周辺自治体との連携による乗り継ぎ改善、新たな運行 方法の導入と適切な大きさの車両導入の検討、ニーズに即したダイヤの 見直し、周知・利用促進活動の積極的な展開を挙げている。
- ・なお、詳細についてはこの後の中部様式に掲載されているので、こちらでは省略する。
- ・P.5 以降は中部様式 1 として自己評価の内容を整理したものになっている。 こちらは P.2 の内容を補足する形で詳細に整理したものとなっている。
- ・P.6、1、協議会が目指す地域公共交通の姿ということで、地域の特性と 背景や、総合計画・都市マスにおける公共交通の位置づけの内容、網形 成計画の内容について整理している。
- ・P.7、2、目標達成に向けた公共交通に関する具体的取り組み内容となっている。こちらではニーズに即した運行改善の検討、情報提供等周知活動の実施、無料お試し乗車券による利用者の掘り起こしを記載している。
- ・P.8、P.9 の連続になるが、3、計画の達成状況の評価指標とその結果では、 国の様式でも説明した2つの目標、目標1、利用者満足度の向上、目標2、 1便当たり平均乗車人員の増加について記載している。
- ・P.10、自己評価から得られた課題と対応方針について、国様式でも記載したが、2 つの事項、地域公共交通網形成計画の見直し・再編と、継続的な利用促進活動の推進について記載している。
- ·P.11 以降は中部様式 2 となっている。
- ・P.12、1、直近の第三者評価委員会の活用・対応状況について。平成 30 年度の第三者評価委員会で弥富市のきんちゃんバスについても評価を受

けているので、その結果を一番左に3つ記載しており、それに対応するように反映状況、今後の対応方針について記載している。

- ・1つ目の事業評価結果として、アンケートの案内文にバス情報を掲載し、 お試し乗車券を配布するなどの利用促進を確実に実施し、1 便当たりの 乗車人員数が(南部ルートを除き)増加していることを評価するという 評価をいただいている。
- ・これに対して、利用者アンケートだけでなく、きんちゃんバス非利用者 に配布される住民アンケートの案内文にもバス情報を掲載。北部ルート と東部ルートで過去最高の利用者数を記録したが、南部ルートで苦戦と 記載している。
- ・今後の対応方針としては、地域住民との接点を持つ場などを有効活用し、 積極的な利用促進を展開する。住民意見交換会を通し、運行方法の改善 等の検討を実施するとしている。
- •2 つ目の事業評価として、商工観光課とも連携し、市内の見どころをめ ぐることのできるマップを作成するなど、観光にも力を入れていること を評価するといただいている。
- ・これに対し、新時刻表に地域活性化の取り組みの情報を掲載し、周辺自治体が運行するコミュニティバスや近鉄の運行情報へとアクセス QR コードも掲載するなど連携を拡大。
- ・今後の対応方針として、市広報なども活用し、関係部局とも連携した継 続的な情報提供を実施することを記載している。
- ・3 つ目の事業評価として、今後は第二次網形成計画の策定に向け、利用 実態調査や意見交換会などを実施、情報を備蓄することで、利便性の高 い持続可能な公共交通ネットワークが構築されることを期待しますとい う評価をいただいている。
- ・これに対し、次期網形成計画の策定に向け、住民意見交換会を各地区 1 回開催し、アンケートなどでは把握できない課題や地域が望むターゲットを把握と記載している。
- ・今後の対応方針として、住民意見交換会は今後も各地区3回程度の開催を予定しており、現在の運行形態にこだわらない方法による運行への再編も視野に検討を進めることを記載している。
- ・P.13、2、アピールポイントについては、市民を対象とした地域公共交通 講演会を開催として、きんちゃんバスを含めた公共交通の現状を認識し ていただき、利用促進のほか、今後の地域公共交通網形成計画見直しに 向けた意識啓発を図ることを目的に、「きんちゃんバスのこれまでとこ れから」と題した講演会開催について記載している。

○資料 5 説明

- ・ 令和元年度補助系統別事業評価票(蟹江線)を説明する。
- ・地域幹線系統である飛島公共交通バス(蟹江線)の事業評価となっており、愛知県のバス対策協議会で評価をとりまとめ、国に提出することに

-	
	なっている。
	・蟹江線の評価としては、令和元年度の運行状況において計画通り実施さ
	れたか、目標・効果達成状況とも A 評価、裏面の 3、令和元年度の取り
	組み状況においてもA評価とされている。
	・今後の課題においては、運営主体では朝夕通勤・通学時間帯における乗
	降客のピーク時に満車に近い状況となっており、将来積み残しが発生す
	る懸念があるとしている。
	・また、弥富市においては、きんちゃんバスの利用者数は増加傾向を維持
	しているものの、またまだ蟹江線との乗り継ぎ利用者は少ない状況にあ
	るため、東部ルート運行の見直しや乗り継ぎの周知方法等の検討が必要
	であるとしている。
	・5、今後の取り組みにおいては、運営主体では、令和2年度、令和3年
	度に毎年利用者が増加している。令和1年度に利用者アンケートを実施
	し、次期交通網形成計画を策定するとしている。
	・弥富市においては、蟹江線を含んだ利用者アンケートや OD 調査等の各
	種調査を実施し、その結果を踏まえ、次期交通網形成計画に合わせて運
	行改善を実施するとしている。
	・6 以降は沿線市町村になるが、基本的に中部様式で説明した事業の自己
	評価の内容と同じような内容が記載されているので割愛する。
	・以上で議題(2)令和元年度地域公共交通確保維持改善事業・事業(自己)
	評価についての説明を終わる。ご審議のほどよろしくお願いする。
山﨑議長	・今説明いただいた地域公共交通確保維持改善事業として国から補助金を
	いただいている。その自己評価ということである。これだけの取り組み
	をした、自分たちで補助金をいただくためにこれだけやった、こんな効
	果が出たということをきちんと報告していくということである。
	・市民委員の方は、なぜこんなことをやっているのかということはご理解
	いただけただろうか。補助金をいただいているというところが1つある。
	国のほうで、第三者評価と言って、先生方からこれを見て評価されると
	いうこともあり、そこに提出していくものである。それがなくてもきち
	んとバスを運行しているからには、自分たちでどんな状況にあるかとい
	うことを把握して評価していく必要があるが、これを提出していくとい
	うことである。
	・蟹江線のほうは、飛島バスが地域間幹線、地域の間を跨いで運行してい
	る幹線バスという位置づけになっている。そこにきんちゃんバスがフィ
	ーダー路線、支線として乗り継げるようになっていることもあり、評価
	するということになっている。こちらは愛知県でとりまとめていただい
	て、国に出していく。これは県でまとめられて、県の協議会で議論して
	いくということである。
渡邊委員	・1月15日までに提出いただく。
(愛知県)	
山﨑議長	・何かご意見、ご質問があればお願いする。

上井委員 ・国、県の補助金が入っている。しっかりと効果的に使われているかどう (愛知運輸支局) かをチェックする観点もある。 ・中部様式という言葉が出てきているが、資料4の文字がずらっと書かれて いる2枚物については全国統一されている国交省本省が定めている様式 になる。本省としてはこれだけでもよいのだが、中部運輸局については さらにこれだけではなく、各協議会での取り組みややった結果をしっか りと評価していこうということで、何年か前から独自で様式を作ってや っている。 ・中部様式は2月18日に第三者評価委員会という学識の先生3名の方に評価 をいただくことになっている。その評価のために出すということもある が、これをしっかりとわかりやすく作るということは、実は市民の皆様 へも、きんちゃんバスについての取り組みが可視化されてわかりやすく なるというところも含めてこの様式を作っている。 ・皆様にお願いしたいのは、これについては今後1月22日までに国に提出 いただくのだが、修正したいところが何カ所かある。事務局と運輸局で 責任を持って仕上げていくので修正があるという前提で協議いただきた ・今気になっているところについては、まず資料4のP.2の①から⑥とある が、⑤のA評価、B評価というところで、それぞれの路線ごと、ルートご と、あるいは満足度ということでA、Bと評価が分かれている。それを⑥ の今後の改善点のところに記載いただいているが、A評価の部分とB評価 の部分の違いについては今後の改善点の中でもう少し記載したほうがよ い。ここは評価委員の先生からも突っ込まれるのではないか。 ・中部方式については、全体的に文章になっているところは箇条書きにし て簡潔に作っていきたい。 ・P.8、P.9のCheckのところについては、記載について工夫、表の見せ方も 含めて修正していきたい。 ・P.10のActのところはタイトルのとおり、課題と対応方針となっているの で、今網計画の見直し・再編とあるが、これも言葉だけ見ると今後の対 応方針ということになるので、課題は一体何かというところをこの表の 中でもう少しわかりやすくして、対応方針として継続的な利用促進や網 計画の見直し・再編に反映させていくという形になっていくと思う。 ・このあたりは今後事務局と相談しなから修正していきたい。 山﨑議長 ・今後まだ修正が入っていくということで、事務局と運輸支局と相談しな がら直していくことになる。 ・気になるところがあればお願いしたい。 ・P.13のアピールポイントは講演会だけでは弱い気がする。むしろ初めて 弥富で今までやったことのなかった市民参加のワークショップに、まだ 完結していないが、着手したということも出してはどうか。 ワークショップについても掲載させていただきたい。 事務局 (岡田)

佐野委員 (公募委員)	・きんちゃんバスではないが、飛島の方に伺いたい。加藤クリニックから 海南病院にバスが出ているのか。タクシーは500円出していると伺った ことがある。加藤クリニックに小さいバスが来て、そこから海南病院に 行っていると聞いた。
荒尾委員(代理) (飛島村)	・加藤クリニックからバスが出ているという話は把握していない。
佐野委員 (公募委員)	・そういうことがもしあれば、きんちゃんバスでもそういうことを応用していただき、午前中だけでもこのルートではなくて、何かあるのではないか。
荒尾委員(代理) (飛島村)	・調べてみないと回答できないが、飛島村からも海南病院通院支援タクシーという形で片道1人500円で事前予約していただき、村内にある40プラスアルファぐらいの停留所から海南病院、海南病院から停留所を往復している。停留所からという形なので、家からは少し歩いていただくが、運行している。
山﨑議長	・飛島さんは病院の専用バスをやっていらっしゃる。・さっき言われたバスは飛島の行政として把握されていないということは、 民間でやっている無料の施設専用の送迎バスという形で、海南病院がやっているものなのではないか。情報があれば事務局にお願いする。・事務局は把握していないのか。
事務局 (岡田)	・聞いていない。
佐野委員 (公募委員) 山﨑議長	・そんなことを聞いた。加藤クリニックのバスではない。飛島さんで別に何か、蟹江路線ではなくて。・貸し切りでやっているのかもしれない。事業者のほうでは話を聞いたこ
小黒委員	とはあるか。 ・把握していない。
(三重交通)	
山﨑議長	・蒲郡でも市が頑張って地域の人たちとバスの運行を始めた途端に、あそこはいろいろな観光施設があるが、そこがいきなり無料バスの運行を始めて利用者を取られてしまったという話を聞いたことがある。・今のことは運輸行政とは関係ない部分ではあるが、人々の生活交通ということを考えると把握しておきたい。何か情報があればお寄せいただきたい。
鯖戸委員 (弥富市区長会 長)	・今世の中、CO2の問題が大きく出てきている中で、SDGsについて2030年までの中でいろいろ取り組むことが国連の中でも言われている。CO2のことを考えると、自分たちの価値観として一人一人がマイカーからなるべく公共交通機関を利用することは大事だと思いつつ、自分自身はしていない。価値観を変えていくということも一緒になって働きかけながら、そのためには公共交通機関が使いやすい形にならないと、ついつい排気ガスを排出してしまう。すぐ改善策がどうのこうのではないが、そういう時代が差し迫っている中での問題であると感じている。

山﨑議長	 おっしゃるとおりである。市で当然バスをきちんと走らせなければいけないのだが、ソフト的なこと、市民の考え方を考え直していただく機会があるとよいと思う。その1つの取り組みとしてワークショップをやっている。 自己評価の資料4に関してはよろしいだろうか。気になるところがあるなどはどうだろうか。
	・確保維持改善事業の事業(自己)評価は、支局のご指導をいただきながら事務局で修正して提出するということである。ご審議いただきたい。 ・承認いただける方は挙手をお願いする。
委員一同	(異議なし)《承認》
山﨑議長	・全会一致で賛成いただいた。これで承認された。・運輸支局から指導をいただきながら修正し、提出いただきたい。

(3) その他

(岡田) ついて見直しをするということであったが、令和2年3月2日(月)から変更させていただく。 ・現在、各ルートごとのワークショップの1回目を終え、来年年明けに2回目が開かれる予定となっている。この結果については次回の会議で報告したい。 ・事務局からは以上である。 ・前回の会議に参加されていない方もいらっしゃるので捕捉するが、蟹江警察署が移転される。今は仮の場所に設置されている。バス停が蟹江警察署となっていたが、警察署が移転したので、バス停の名称を変えるということである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス停名を変えるということで進めているという報告であった。	<u> </u>	
(岡田) ついて見直しをするということであったが、令和2年3月2日(月)から変更させていただく。 ・現在、各ルートごとのワークショップの1回目を終え、来年年明けに2回目が開かれる予定となっている。この結果については次回の会議で報告したい。 ・事務局からは以上である。 ・前回の会議に参加されていない方もいらっしゃるので捕捉するが、蟹江警察署が移転される。今は仮の場所に設置されている。バス停が蟹江警察署となっていたが、警察署が移転したので、バス停の名称を変えるということである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス停名を変えるということで進めているという報告であった。	山﨑議長	・その他として事務局からお願いする。
変更させていただく。 ・現在、各ルートごとのワークショップの1回目を終え、来年年明けに2回目が開かれる予定となっている。この結果については次回の会議で報告したい。 ・事務局からは以上である。 ・前回の会議に参加されていない方もいらっしゃるので捕捉するが、蟹江警察署が移転される。今は仮の場所に設置されている。バス停が蟹江警察署となっていたが、警察署が移転したので、バス停の名称を変えるということである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス停名を変えるということで進めているという報告であった。	事務局	・前回の協議会にて、蟹江警察署の移転に伴うバス停の名称の変更日時に
 現在、各ルートごとのワークショップの1回目を終え、来年年明けに2回目が開かれる予定となっている。この結果については次回の会議で報告したい。 事務局からは以上である。 前回の会議に参加されていない方もいらっしゃるので捕捉するが、蟹江警察署が移転される。今は仮の場所に設置されている。バス停が蟹江警察署となっていたが、警察署が移転したので、バス停の名称を変えるということである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス停名を変えるということで進めているという報告であった。 	(岡田)	ついて見直しをするということであったが、令和2年3月2日(月)から
目が開かれる予定となっている。この結果については次回の会議で報告したい。		変更させていただく。
したい。		・現在、各ルートごとのワークショップの1回目を終え、来年年明けに2回
・事務局からは以上である。 山﨑議長 ・前回の会議に参加されていない方もいらっしゃるので捕捉するが、蟹江警察署が移転される。今は仮の場所に設置されている。バス停が蟹江警察署となっていたが、警察署が移転したので、バス停の名称を変えるということである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス停名を変えるということで進めているという報告であった。		目が開かれる予定となっている。この結果については次回の会議で報告
 山﨑議長 ・前回の会議に参加されていない方もいらっしゃるので捕捉するが、蟹江警察署が移転される。今は仮の場所に設置されている。バス停が蟹江警察署となっていたが、警察署が移転したので、バス停の名称を変えるということである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス停名を変えるということで進めているという報告であった。 		したい。
警察署が移転される。今は仮の場所に設置されている。バス停が蟹江警察署となっていたが、警察署が移転したので、バス停の名称を変えるということである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス停名を変えるということで進めているという報告であった。		・事務局からは以上である。
察署となっていたが、警察署が移転したので、バス停の名称を変えるということである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス停名を変えるということで進めているという報告であった。	山﨑議長	・前回の会議に参加されていない方もいらっしゃるので捕捉するが、蟹江
いうことである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス 停名を変えるということで進めているという報告であった。		警察署が移転される。今は仮の場所に設置されている。バス停が蟹江警
回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス 停名を変えるということで進めているという報告であった。		察署となっていたが、警察署が移転したので、バス停の名称を変えると
停名を変えるということで進めているという報告であった。		いうことである。いろいろな対応をしなければいけないことがあり、前
		回は5月ぐらいになってしまうということであったが、これを3月にバス
・ワークシュップの9回日を進めていくという話であった		停名を変えるということで進めているという報告であった。
「プラグララグの名画音を進めていくという品であった。		・ワークショップの2回目を進めていくという話であった。
・これに関してよろしいだろうか。		・これに関してよろしいだろうか。
上井委員・ワークショップで出てきた意見のとりまとめや、公共交通会議、網計画	上井委員	・ワークショップで出てきた意見のとりまとめや、公共交通会議、網計画
(愛知運輸支局) への反映について中長期的なスケジュールのお考えを教えていただきた	(愛知運輸支局)	への反映について中長期的なスケジュールのお考えを教えていただきた
٧٠ _°		٧١°
事務局・来年度はワークショップが終わった時点で、各ルートの問題点がまとめ	事務局	・来年度はワークショップが終わった時点で、各ルートの問題点がまとめ
(岡田) られるので、それに基づいたものと、これまでの調査等によって得た情	(岡田)	られるので、それに基づいたものと、これまでの調査等によって得た情
報等を含めながら、来年度の前半に網形成計画のたたき台を用意し、後		報等を含めながら、来年度の前半に網形成計画のたたき台を用意し、後
半にパブリックコメント等によって形成計画に向けていきたいと思って		半にパブリックコメント等によって形成計画に向けていきたいと思って
いる。		いる。
上井委員 ・今年度中は会議はやらないということか。	上井委員	・今年度中は会議はやらないということか。
(愛知運輸支局)	(愛知運輸支局)	
事務局・今年度は、第4回を3月下旬に予定している。そこでワークショップにつ	事務局	・今年度は、第4回を3月下旬に予定している。そこでワークショップにつ

(岡田)	いて報告する。
山﨑議長	・こんな結果だった、こんな意見が出た、具体的な改変の意見が出てきた
	ということを見せていただけるということか。
事務局	・そうである。各ルートごとの地域のご意見がここに反映されると思う。
(岡田)	
山﨑議長	・それを踏まえた計画の改定、改編案を来年度出していくという大雑把な
	スケジュールということである。
事務局	・内容についてはそのようにお願いしたいと思っている。
(岡田)	
山﨑議長	・よろしいだろうか。
	・スケジュール表を出したほうがよいと思う。
多田委員	・毎回この協議会に出席できないこともあり、既に報告いただいているか
(名古屋タクシ	もしれないが、改めて確認したい。
一協会)	・支局からご質問があったこととも関係するが、資料をいくつか見ている
	と来年度計画変更のたたき台を作っていくということであるが、その中
	にタクシーの話や、今までにないような形の提案を第三者評価委員会に
	も報告しているという記載が2カ所ほどあった。
	・タクシー事業者団体としては、タクシー事業者と今どの辺まで詰めがさ
	れているのか、またタクシーを使う計画があるのか、ないのかも含めて、
	現状言えないこともあるかもしれないが、どういう状況になっているの
	か。また必要に応じてタクシー協会とタクシー事業者で市長を訪問し、
	お話を伺ったりということも考えていきたい。答えられる範囲でお知ら
	せいただきたい。
事務局	・タクシーについては、報告の中で運行形態の見直しをうたっているので、
(岡田)	どのような形になるかははっきりしていないが、今のところこれまでと
	違った形になる可能性があるということで考えている。
	・タクシー協会とはまだ具体的な調整は行っていない。今後ご相談させて
	いただくことがあればお願いしたいと思っている。
多田委員	・タクシー協会では具体的な提案は難しい部分がある。地域の事業者とよ
(名古屋タクシ	り具体的な話をしていただきたい。必要に応じて連絡をさせていただく
一協会)	ので、ぜひそのときはご連絡をいただきたい。
山﨑議長	・私は講演会でも話をしたが、そこにいる事業者をどううまく活用してい
	くかということが1つ課題である。事業者がやる気になってくれないと何
	もできなくなってしまう。そうこうしているうちに新たなやり方を提案
	してくる方々も今いる。既存の事業者がやる気を持っていただけないと、
	そういうところに向かっていくということも1つの手であるという考え
	方も今出てきている。
	・ただ、本当は輸送の安全のことを考えるとそこにいる事業者さんにぜひ
	頑張っていただきたい。こういうことをやりたいということを早めに市
	自体が持って、この人たちをこのように運びたいが何かタクシーを活用
	できないかとか、ここはバスを使って活用できないかなど相談していく

と、それが形にならなくてもよいかなと思う。 ・以前、デマンドの検討をしたときには地元のタクシー業者さんに相談し て見積もりを取ったりされていたようである。 ・ほかはよろしいだろうか。 ・市民代表、市民団体の委員の方でご発言いただいていない方から一言ず ついただきたい。ワークショップにも来ていただいたが、何でも結構で あるのでお願いする。 早川委員 ・何度も言うが、これに関して市民の関心は非常に低い。前回のワークシ (弥富市福寿会 ョップ、講演会でもそうだが、限られた人しか来ていない。ワークショ 連合会会長) ップは特に少ない。 ・私どもは東部のほうだが、東部の実態は通勤か通学である。あとは海南 病院などである。買い物と言っても、現実問題としては、私もそうだが、 買い物はマイカーで行く。 ・介護であれば介護の施設の車でということになる。 ・通常、健康な人が買い物に行くと言っても自分の車で行ってしまう。あ と残るのは通勤・通学である。どうしてもということであれば縦横の線 をしっかりしたほうがいいと思う。朝夕の通勤・通学が実際どれぐらい の需要があるのかどうなのかというのをつかむ。 ・もう1つは、東部のほうから本庁舎、海南病院、そういったところに、日 中、人をやるというようなことも考えるべきではないか。 ・皆さん便数を増やせばいいと安易に思う方がいると思うが、現実を見て いると、市単独でやっていたらすごい経費である。そういうことを考え ると、実際にその地区の人たちがどんなことを考えているのかという、 アンケートなどにきちんと書けばいいのだが、書かないと思う。たまた ま私はそういうことを思っただけかもわからないが、そういった傾向で、 うまく時間帯を通勤・通学と、あとあいている時間帯は、この時間帯に 買い物なり行政なり、病院、そういったことで使っていただくというこ とですみ分けたらどうか。そういった観点では病院のほうにも協力を願 ったりしてやるというのも1つの手だと思う。 山﨑議長 ・OD調査の結果を見てみると、東部ルートの現状のルートでは公共施設、 十四山総合福祉センターの利用が一番多い。それをターゲットとしてい る路線になっている。これを通勤・通学対応にするかというところを行 政側の方針として決めていく。通勤・通学は自分たちでやっていただき、 公共施設、十四山、高齢者だけ運ぶということならばそれはそれである と思う。そこは皆さんの意見を吸い上げて検討していきたい。 ・今回初めてご参加いただいた遠藤委員、いかがか。 ・私はいい場所に住んでいるせいか、1度もバスに乗ったことがない。バス 遠藤委員 (民生・児童委員 が通ると何人乗っているのかなとつい見る癖がついてしまった。本当に 協議会会長) 乗っていないと思った。 このデータを見ると、少し右上がりになっているということはわかった。 だんだん増えていっているということが初めてわかった。そういう意味

で利用している人もいるんだなとわかった。 ・私の友達の話で、イオンにお買い物に行くと、帰るときのバスがなイオンで待っていないといけないと聞いた。買い物は2時間もするこない。帰る時間もうまくバスがあるとよいのではないか。	-
イオンで待っていないといけないと聞いた。買い物は2時間もするこ	-
	とは
たい 侵ろ時間もうまくバスがあるとといのでけないか	
ない。神の時間のフェイバルののこよいのではないか。	
山﨑議長・前任の福田さんは皆さんに声をかけて民生児童福祉委員の方と一緒	こ乗
って、車に乗り慣れていると不便だが、使っていただいた。ぜひ1度	乗っ
ていただきたい。	
山口委員・今回で3回目になるが、南部のワークショップに出た。最初は私1人	だっ
(公募委員) たが、皆さん協力していただき、貴重な意見をいただいた。せっか	く走
っているのであるから、大きいバスも小さいバスもあるが、日中乗	って
いない時間帯をたまに見かけるので、通勤・通学を主体でもいいが、	な
るべくロスのない活用方法ができるとよい。せっかく会議もあるの	でや
っていただきたい。	
・時間もかかると思うが、市も各集落に対してきんちゃんバスに対す。	る意
見を一歩踏み込んでやっていただきたい。アンケートの回収率も10	
ではないと思う。高いお金を使っているので、地域の皆さんに対し、	
効に使っていただけるきんちゃんバスの方法をもう少し掘り下げて	
ていただくとよいのではないか。	•
山﨑議長・引き続き後半のワークショップでお願いしたい。南部ルートは最初に	は山
口さん1人だったが、皆さんたくさん集まっていただき、盛り上がっ	
・その他としてバス協会と支局から資料を出していただいている。バ	-
会から説明をお願いする。	04/3
伊藤委員(代理)・合同就職説明会開催ということでご案内させていただく。	
(愛知県バス協・9月に開催する予定でいたが、台風で流れて、2020年2月8日となった	÷
会) ・現在、バス事業者は運転手の確保に大変苦労されている。このままで	Ū
況が続くと路線バス運行の削減や路線廃止という大変厳しい事態に	
てしまう。ドライバー確保の一環として「どらなびEXPO2020春」を	
ゲートタワーにおいて開催する。東海3県や大手バス事業者25社が	
にブースを構える。今年も女性来場者の増加に力を入れ、現役女性	
運転手によるトークセッション、女性バス運転手と来場者による座	
も予定している。ぜひ周知していただくようお願いする。	
山﨑議長・ちょうど台風で流れた弥富の講演会と同じ日であった。延期されたか	š, 2
月に開催されるということである。お知り合いの大学生などがいら、	
ゃれば、お正月に親戚で集まったときに、バスの運転手になっては	どう
かという話をしていただきたい。	
・運輸支局から資料が出ているので、説明をお願いする。	
上井委員・2枚資料があるが、1枚目、「運行計画どおりに路線バスを運行してい	ます
(愛知運輸支局) か」だが、12月6日に愛知運輸支局の輸送監査担当から愛知県内の金	
町村の公共交通の担当者に通知をした資料の一部抜粋である。	
・最終の停留所の手前で誰もお客がいなければ運行を効率的に中断し	てい
いということであるが、勝手にやると違反になる。あらかじめ届け	

必要である。

- ・運転手が1人で勝手に判断するのではなく、運行管理者の指示を仰いで判断するということの周知をしたものである。
- ・もう1つが、バス協会と日にちが近いところになるが、来年2月10日に、バス、トラック、タクシー整備を加えた就職相談会、運転や乗車などの体験会を実施する。こちらは厚労省労働局にも協力をいただき、その場で面接もできる。普段使うことのできない機器操作や運転、乗車の体験ができる。バス協会と同じように現役の若手や女性ドライバーとの座談会もある。このような取り組み的には私ども運輸局としても初めての試みである。みよし市となると弥富市から少し遠いが、興味ある方にご周知いただければ幸いである。

山﨑議長

- こういった取り組みをされているということである。よろしくお願いしたい。
- ・市民委員の方に理解していただきたいのは、事業者は運行計画どおりに バス路線を運行しなければいけない。お客さんがいないからここで戻っ てしまおうということが豊田市であり、問題になったため、こういう通 達が出ている。
- ・ほかにはよろしいだろうか。

渡邊委員 (愛知県)

- ・感想になるが、ここへ来るに当たってきんちゃんバスの東部ルート、弥 富駅から乗ってきた。2つほどエピソードがある。
- •1つは座席に座ろうとしたら、前のお客さんだと思うが、財布を座席に忘れていた。運転手に持っていくと、こちらが恐縮するぐらいお礼を言っていただいた。気持ちのいい思いをした。
- ・バスが走り出して、少し時間があったので、途中で路肩に止めて、しば らくお待ちくださいとアナウンスされ、そこで中身を確認して、この人 だということで指令のほうに連絡を取られていた。「失礼しました、今連 絡をしましたのでお時間をいただきました」とアナウンスされていた。
- ・また別のお客様が、東部小学校に乗っていかれる方が、帰りの時間は何時かと聞くと、乗るときも、降りられるときも、行きは右回りと左回りと両方あるから、こちらのバス停に乗って、左回りは道路を渡った向こう側ということを何回もおっしゃっていて、すごく気持ちよく乗れた。
- ・正直、バスは小さなバスで通路も狭く、座り心地はよくないのだが、心 が気持ちよかった。
- ・満足度の話になるが、いかに気持ちよく乗れるかということも大切である。満足度の利用者アンケートをすると、不満、満足、やや満足など抽象的である。不満の場合は何が不満か聞かれると思うが、満足はどこに満足されたか聞かれていない。そういうところも聞いて、いいところを伸ばせるところもあるのではないか。
- ・バス停を増やすとか、本数を増やすとか、バス停に上屋をつけるという ハード面の整備はハードルが高いが、ソフト面のそうしたことはやろう と思えばできると思う。満足したところはどこか、そこはもっとこれか

	T ,	
	ら伸ばしていこうということも取り組んでいくとよいのではないか。	
山﨑議長	・いい話をありがとうございます。	
	・確かにここの十四山に来ている東部ルートは運転手が頑張ってくださっ	
	て、丁寧な対応をしてくださっていて、いいことだと思う。	
	・東部ルートは高齢者が十四山福祉センターに行く。この後、3時12分に	
	バスが出るが、そのバスに私はたまに乗って帰るが、たいてい飛島バス	
	停の亀ヶ地や神戸新田まで歩いて飛島バスに乗ったりするのだが、ここ	
	から3時12分のバスに乗るとおばあさんたちが必ず何人か乗っている。	
	多いときは7、8人乗っている。バスの中でコミュニティができている。	
	楽しそうにしゃべっている。ある方は、この後もう1本バスがあるので、	
	福祉センターで降りる。福祉センターから乗ってきて、帰る方もいる。	
	なかなかいい路線だと思っている。利用者はそんなに多くなく、そんな	
	にサービスレベルは高くない路線ではあるが、そんなことがあるので、	
	バスの中であったいいこと、心がほっこりするようなことを市民に募集	
	するというPRの仕方もあるのではないか。	
	・ほかはよろしいだろうか。	
	・一通り議事は終了した。事務局にマイクをお返しする。	
4.閉会		
事務局	・連絡事項であるが、次回協議会は3月下旬を予定している。日程が決まり	
(岡田)	次第ご案内するので、よろしくお願いする。	
	・以上をもって、令和元年度 第3回弥富市地域公共交通活性化協議会を終	
	了する。今後ともご協力賜るようお願いする。	
	以上	